

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<1/3>

参考値

(データ集約：10/24)

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成26年9月8日 8時11分	平成26年9月9日 9時16分	平成26年9月8日 8時14分	平成26年9月9日 9時17分	平成26年9月8日 8時06分	平成26年9月9日 9時13分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.OE-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約3E-8Bq/cm³、Cs-137が約3E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-8Bq/cm³、Cs-134が約2E-8Bq/cm³、Cs-137が約2E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(データ集約：10/24)

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年9月11日 8時33分	平成26年9月12日 9時06分	平成26年9月11日 8時27分	平成26年9月12日 9時03分	平成26年9月11日 8時21分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約6E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(データ集約：10/24)

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成26年9月14日 8時10分	平成26年9月15日 9時03分	平成26年9月14日 8時12分	平成26年9月15日 9時05分	平成26年9月14日 8時07分	平成26年9月15日 9時06分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約6E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。